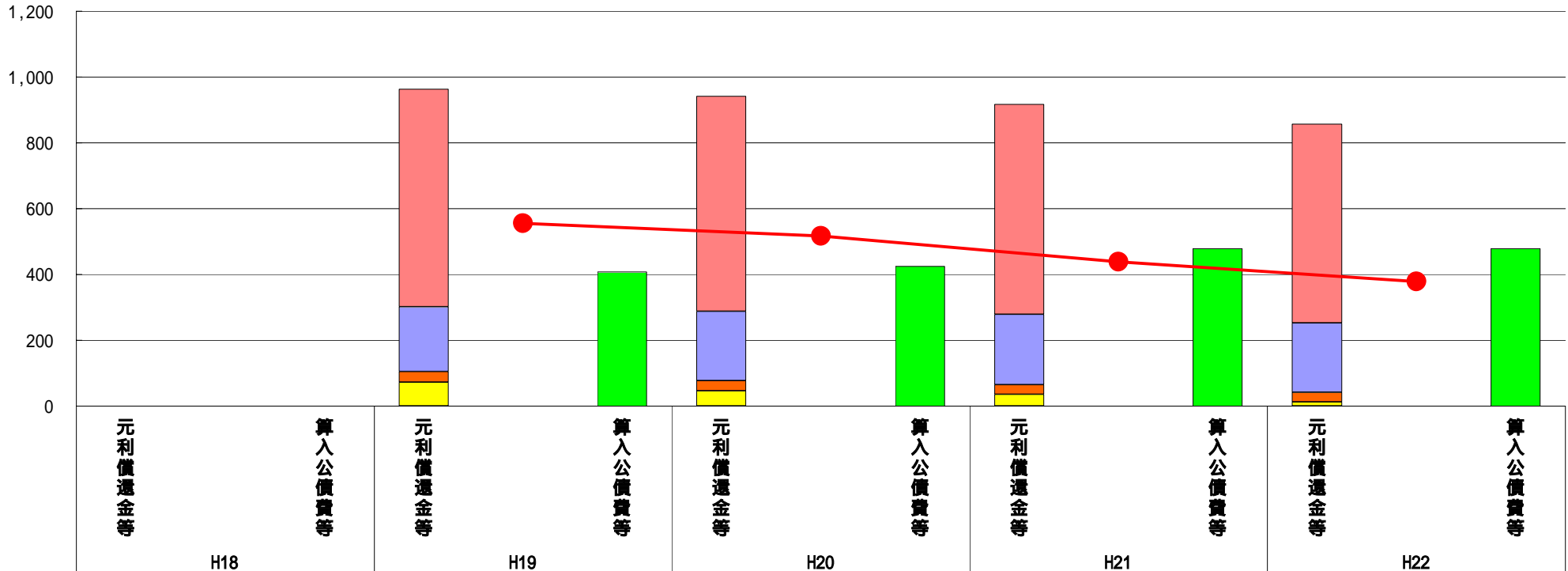


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

岩手県平泉町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等(A)	元利償還金	-	661	653	639	605	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	197	211	214	210	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	33	31	29	29	
	債務負担行為に基づく支出額	-	72	46	35	13	
	一時借入金利息	-	0	0	0	0	
算入公債費等(B)	算入公債費等	-	407	424	479	478	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	556	517	438	379	

**分析欄**

元利償還金・・・H19年度～21年度の3カ年にわたり利率の高い起債を繰上償還したことや起債の新規発行を抑制したことによりH22年度で605百万円まで減少してきた。

公営企業債の元利償還金に対する繰入金・・・下水道事業特別会計など全体で横ばいで推移している。

組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等・・・一関地方広域行政組合の負担金であり、年々微減傾向となっている。

債務負担行為に基づく支出金・・・近年、圃場整備など新たな事業を行っていないことから年々減少している。

算入公債費等・・・過去の起債に対する基準財政需要額であり、横ばいから微増となっている。

実質公債費比率の分子・・・元利償還金が年々減少し、算入公債費等が横ばいから微増なので、確実に減少傾向となっている。

平成17年度と平成18年度において、元利償還金とは充当可能特定財源の額を控除した後の額であり、満期一括償還地方債に係る年度割相当額とは積立不足額考慮算定額を含んだ額である。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。